

## 体育科

## 昨年度の取り組みと成果と課題

## 【 成果 】

- ・コロナ禍で体づくり運動の実施が増えたためか、令和4年度の体力テストでは長座体前屈がほとんどの学年で都の平均よりも高い傾向にある。
- ・休み時間などに率先して体を動かす児童が増え、運動の日常化を図ることができた。

## 【 課題 】

- ・熱中症防止のための室内での暮らしにより、運動する機会が減り、体力は低下傾向にある。
- ・令和4年度の体力テストの結果では、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びが低い傾向にある。
- ・令和3・4年度は学級ごとに数回程度実施した程度だったため、泳力の低下が顕著である。卒業までに25m完泳できる児童を増やしていく。

## 学習状況の分析

## ○知識・技能

- ・入学時から運動経験に差があり、体育の時間に技能面で苦手意識がある児童がいる。
- ・健康や安全については理解し、知識も身に付いてきている。しかし、実践が伴わず、思わぬけがをしてしまうなど、実生活で生かし切れていない場合もある。

## ○思考・判断・表現

- ・ペア学習やグループ学習を学習計画に取り入れたことで、相互に声をかけ合ったり、学び合ったりする姿勢が見られる。
- ・一人一人が学習課題をもち、運動の方法や動きの工夫、課題解決などを自分で考えながら実践する力がやや不足している。

## ○主体的に取り組む態度

- ・運動領域によって得意不得意が顕著であり、マット運動や鉄棒などの器械運動では、課題が難しくなるにつれて、粘り強く運動に取り組もうとする意欲も低くなる傾向がある。
- ・意欲的に運動に取り組む児童と消極的に運動に取り組む児童の二極化がみられる。

## 授業改善のポイント（観点別）

### 【 低学年 】

#### ○知識・技能

- ・いろいろな動きを身に付けさせるために、体全体を使った多様な動きを経験できるよう、指導や教材の工夫をしていく。また、休み時間や放課後にも、意欲的に運動に取り組めるよう、授業時に場の工夫をしたり、動きを称賛したりして、体を動かすことの楽しさを味わわせる。
- ・先生や友達とやってみる時間を多く取り、運動の楽しさに触れ、技能も習得できるよう工夫する。

#### ○思考・判断・表現

- ・楽しく運動できる場や動き方を用意し、自分に合った場を選んだり、様々な動きに挑戦したりできるような工夫をする。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・体育指導補助員を活用し、一人一人が運動に楽しく取り組める場を増やす。
- ・きまりを守り、安全に気を付けながら運動に取り組めるよう、継続的に指導していく。
- ・安全や健康について意識した行動がとれるよう、継続的に指導していく。

### 【 中学年 】

#### ○知識・技能

- ・基本的な技能を確実に習得させ、身に付けた動きを活用できるよう単元計画を作成する。
- ・食事・運動・休養及び睡眠について自分の生活を見直し、正しい生活習慣を身に付けることのよさを理解させ、実践させていく。

#### ○思考・判断・表現

- ・動きのポイントやゲームの規則がわかり、さらに楽しく運動ができるように考え、発表する場を設ける。また友達のよい動きを見付け、発表し全体に広げる活動を取り入れる。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・課題解決を目指し、自分の力に合った適切な目標を設定することができるようなルールや場づくりをして、達成する喜びを味わわせる。
- ・様々な運動を経験させ、運動の楽しさや動きを実感できることの楽しさを味わわせる。

### 【 高学年 】

#### ○知識・技能

- ・習得した技能を活用し、動き方や練習の仕方などを探究できるような場を設け、課題の解決に向けて場を選択させる。
- ・けがや病気などの予防について知識として理解するだけでなく、実践できるように声かけを行っていく。さらに、振り返りカードなどを活用して、自分の行動や生活について見直す機会をつくる。

#### ○思考・判断・表現

- ・友達と関わり合い、課題解決の仕方を話し合い、工夫して運動に取り組ませていく。
- ・個人だけでなくグループで励まし合ったり、助言をしたりして、課題解決を目指していく。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・授業の中で「関わり」を意図的に作り出すことにより、協力する姿勢や公正な態度を育てる。